

第 1558 圖

じふじばな科



あぶらな

一名 たたねな

Brassica campestris L.

subsp. Napus Hook. fil. et Anders.

var. nippo-oleifera Makino.

蓋シ其原種ハ支那ヨリ渡來セシ者ナランモ我邦ニテ舊クヨリ栽培セラルル越年生草本。全體平滑ニシテ莖ノ高サ1m内外ニ達シ上方分枝ス。葉ハ可ナリ大、脚葉ハ有柄ニシテ頭大ノ少數羽狀ヲ成シ或ハ時ニ分裂セザル者アリ、葉縁ニハ鈍齒牙アリ、上面鮮綠色ニシテ下面ハ帶白色ヲ呈シ葉柄ハ時ニ微シク紫色ヲ帶ブルコトアリ。上部ノ葉ハ無柄ニシテ底部ヲ以テ莖ヲ抱ク。四月頃黄色十字花ヲ總狀花序ニ開キ初メ聚房狀ヲ呈スレドモ花軸漸次ニ生長シテ延ブ。萼片ハ披針形ニシテ長サ6mm許。花瓣ハ倒卵形狭脚、長サ10mm許。四強雄蕊、一雌蕊アリ。花後圓柱形ニシテ先端長嘴ヲ有ス長角ヲ結ビ熟スレバ開裂シ黒褐色ノ小粒狀種子ヲ散ズ。なたね油ハ主トシテ此種子ヨリ搾取ス。從來本品ノ漢名トシテ薑薑ヲ充テシモ是レハ別種ニシテ和名ヲウんだいあぶらなト云フ。

第 1559 圖

じふじばな科



かぶ (蕪菁)

一名 かぶら・かぶな

Brassica campestris L.

subsp. Rapa Hook. fil. et Anders.

(= B. Rapa L.)

重要ナル蔬菜トシテ普ク家圃ニ栽培セラルル越年生草本ニシテ舊ク支那ヨリ渡來セシ者ナリ。根ハ白色多肉質ニテ扁球形者ヲ通常品トシ或ハ稍長形ヲ成ス者アリ。莖ハ直立シテ上部ニ分枝シ高サ90cm内外、圓柱形ニシテ淡綠色ヲ呈ス。根生葉ハ大形ニシテ叢生シ長サ40-60cm、莖形ニシテ僅ニ剛毛アリ先端鈍頭、頭大ニシテ邊緣羽裂セズ不齊ノ低平ナル齒牙ヲ有ス。莖葉ハ倒披針形、柄葉ハ披針形ニシテ時ニ帶白色ヲ帶ビ、葉底ヲ以テ莖ヲ抱ク。春日枝上ニ總狀花序ヲ成シテ小梗ヲ有スル黄色十字花ヲ開ク。萼ハ四片アリ長橢圓形ニシテ斜上シ長サ5mm許。花瓣ハ倒卵形ニシテ長角ヲ成シテ多數果穂軸ニ斜上シ長サ6cmニ達シ、種子ハ褐色ヲ呈ス。根并ニ葉ハ食用ト成リ、栽培變種頗ル多ク中ニハ根ノ紅紫色ヲ呈スル者或ハ根形稍長クシテ上紫下白ノ者等アリ。和名かぶハ株ト通シ頭ノ義ニシテ塊ヲ成スヨリ云フ、かぶらノらハ單ニ語尾ニ附ケテ呼ビ敢テ意義ナシ、かぶなハかぶナル菜ノ意ナリ。

第 1560 圖

じふじばな科



からしな (芥)

一名 ながらし

Brassica cernua Hemsl.

蓋シ支那原産ノ越年生草本ニシテ通常廣ク栽培セラレ高サ1.5m内外ニ達ス。根生葉ハ長柄ヲ有シテ往々多少羽裂シ長サ約20cmニ出入ス、莖生葉ハ互生シテ短柄ヲ有シ莖ノ上部ニ至ルニ從ヒ漸次ニ小形ト成レリ。葉縁ニハ缺刻ヲ有シ且鋸齒アリ、普通葉面稍皺縮シテ帶白色ヲ呈シ、多少粗糙シ稍毛ヲ生ズ。四月頃總狀花序ヲ成シテ有梗ナル黄色十字花ヲ開キ稍小形ナリ。萼片ハ長橢圓形淡綠色ニシテ斜立シ長サ5mm。花瓣ハ狭長橢圓形ニシテ長サ8mm許ナリ。四強雄蕊、一雌蕊アリ。果實ハ瘦長ナル長角ヲ成シ斜上シ、種子ハ黄色、辛味アリ、粉末トシテ芥子ト稱シ辛味料或ハ藥用トシテ用ケラル。和名ハ種子ニ辛味アルヨリ辛し菜ト稱シ、又菜辛しトモ呼バル。

おほがらし (大芥・皺葉芥)

一名 たかな・おほな

Brassica juncea Coss.

普ク家圃ニ栽培セラルル二年生草本ニシテ往時支那ヨリ來リシ者ナラン。莖ハ高サ1.2m内外ニ達シ粗大ニシテ淡綠色ヲ呈シ上部分枝ス。葉ハ倒卵形、狭底ニシテ不齊鋸齒縁ヲ有シ長サ60-80cmニ達ス。莖葉ハ長橢圓狀披針形ニシテ全縁或ハ不明鋸齒縁ヲ成ス。葉ハ皺面ヲ成シ、往々暗紫色ヲ帶ブル者アリ。春夏ノ候枝梢上ニ總狀花序ヲ成シテ小梗アル黄色ノ稍小形十字花ヲ開ク。萼四片、淡綠色。花瓣四片、長花爪アリ。四強雄蕊。一雌蕊。果實ハ小ナル長角ヲ成シテ斜上シ多數果穂ニ着ク。莖葉ハ食料トス、多少辛味アリ。一變種ニちりめん一名しゅんぷらん即チ芥芥 (var. Chirimenna Makino) アリ、其葉羽裂シ裂片剪裂ス、圃ニ作り食用トス。和名大芥ハ草狀大形ナルヨリ云ヒ、高菜ハ其莖高く成長スルヲ以テ名ケ、大菜ハ闊大ナル葉ヲ有スルニ由リ稱ヘラル。

第 1561 圖

じふじばな科



たまな (葵花白菜)

一名 きゃべつ

Brassica oleracea L.

var. capitata L.

歐洲原産ニシテ廣ク園圃ニ栽培セラルル越年生草本。葉ハ厚ク廣澤無毛ニシテ霜白色ヲ帶ビ邊緣不齊ノ鋸齒アリ、互ニ相層ナリ、中央ノ葉ハ密ニ固ク相擁シテ大ナル球ヲ形成ス。五六月ノ候中央ニ綠莖ヲ抽テ分枝シ總狀花序ヲ成シテ小梗アル淡黄色ノ大形十字花ヲ開ク。萼片ハ長橢圓形ニシテ斜上シ長サ約1cm。花瓣ハ倒卵形狭花爪、長サ約2cmニ達ス。四強雄蕊。一雌蕊。花後短圓柱狀長角ヲ結ビ斜上ス。本種ハ原ト海岸懸崖ノ巖罅ニ自生セル者ヲ採リテ園養シ蔬菜化セシ者ナルヲ以テ尙依然トシテ海邊植物タル葉質ヲ具フ。結球セル葉ヲ食用トス、普通白色ナレドモ稀ニ紫色ノ品アリ。結球セズシテ紅紫色ヲ帶ビ緑色ノ品ハぼたん(甘藍ハ誤用)アリ。一變種ニちりめんハぼたん・ちりめんハぼたん・はなやさい・はなはぼたん等數品アリ。和名球菜ハ結球セル葉狀ニ基キ、きゃべつハ此種ノ俗名 Cabbage ノ音轉ナリ。

第 1562 圖

じふじばな科



わさび

Wasabia Wasabi Makino.

(= Eutrema Wasabi Maxim.; Lunaria? japonica Miq.; Cochlearia japonica Franch. et Sav.; Wasabia pungens Matsum.)

山間ノ溪流ニ生ジ又往々栽培セラルル多年生草本。地下莖ノ中央者ハ大ナル圓柱狀ヲ成シ葉痕顯著ナリ。根生葉ハ數片アリテ長サ30cm許ノ長柄ヲ有シ、大ナル圓形ヲ呈シ、心臟底、邊緣ニ不齊ノ微鋸齒ヲ具フ。春日葉中ヨリ高サ30cm許ノ莖ヲ抽キ、莖頭或ハ時ニ柄葉腋ニ短キ總狀花序ヲ成シテ稍密ニ白色十字花ヲ着ク。萼片ハ橢圓形、長サ4mm許、邊緣部ハ白色。花瓣四片ハ長橢圓形鈍頭、長サ6mm許ニ達ス。四強雄蕊、一雌蕊アリ。花後花軸ハ延長シテ疎ニ長角果ヲ着ク。果體彎曲シテ先端嘴アリ、長サ17mm内外ニシテ數個ノ縊レアリ。地下莖ヲ辛味料トス。和名ハ大槻文彦氏ノ大言海ニ據レバ惡障瘞(ワルサハヒビク)ノ略ニシテ辛キ意ヲ示セルナリト謂ハル。漢名 山蔞菜(誤用)。圃ニ作ル者ヲはたわさび(forma terrestris Makino)ト云ヒ、樺太ニ在ル一變種ヲからふとわさび(var. sachalinensis Makino)ト云フ。

第 1563 圖

じふじばな科

